

命を救う身近なボランティア

献血にご協力ください

輸血用血液は毎日必要です。皆さんのあたたかい“気持ち”で救える命があります。
お一人でも多くの方のご協力をお願いします。



献血の前に

以下に該当する方は献血をご遠慮ください。

- ① 3 日以内出血を伴う歯科治療（歯石除去含む）を受けた方
- ② 4 週間以内に海外から帰国された方
- ③ 1 か月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ 輸血歴のある方

上記以外にも、血液の安全性確保のため検診医の判断によりご遠慮いただく場合があります。

以下に該当する方は職員にご申告ください。

- ① 3 日以内に薬を服用、使用した方
- ② 1 年以内に予防接種を受けた方
- ③ 3 年以内に海外（ヨーロッパ、アメリカ、カナダを除く）に滞在した方
- ④ 中南米諸国に通算 4 週間以上滞在した経験のある方

献血当日は、



十分な睡眠と、



食事をとって、
ご参加ください。



400mL献血にご協力ください

医療機関から要請される血液の97%以上は400mL献血によるものです。患者様の身体的負担、輸血に伴うリスク軽減のため、**体重50kg以上の方は400mL献血にご協力をお願いいたします。**



お薬について

『**薬剤名**』を教えてください！薬によっては
ご協力いただけるものが**多数**あります。

- **当日服用**していても献血できるもの
降圧剤
（血圧を下げる薬。複数種服用でも可）
抗アレルギー薬
（花粉症、鼻炎、アトピー性皮膚炎等。セレスタミン等ステロイド含有薬を除く）
高脂血症治療薬
（コレステロールを下げる薬）
サプリメント・漢方薬 痛風・高尿酸血症治療薬
胃腸薬・便秘薬・低用量ピル・前立腺肥大症治療薬（アボダート、アボルブ、ザガーロ、プロスカール、プロペシア等を除く） など
- **前日までの服用**であれば献血できるもの
解熱鎮痛消炎剤・下剤 など

※ いずれも薬の成分による献血の可否判断であり、治療中の病気の状態や当日の体調から医師が総合的に判断し、献血の適否を決めます。

近年、医療機関からの輸血用血液の需要はますます高まる一方で、献血にご協力いただく方は減少傾向にあります。

今後の輸血医療を支えて
ゆくために皆様のご協力を
お願いいたします。

内服薬と献血適否について

いずれも薬の成分による献血の可否判断であり、治療中の病気の状態や当日の体調から、**医師が総合的に判断し**、献血の適否を決めます。

降圧剤（血圧を下げる薬）	当日でも○	合併症がなく、血圧がほぼ正常にコントロールされている場合は献血可。
抗アレルギー薬 （花粉症、鼻炎、アトピー等）	当日でも○	セレスタミン等ステロイド含有薬を除く。 ステロイド含有薬服用の場合は3日間献血不可。
胃腸薬	当日でも○	潰瘍治療薬の予防的服用であれば可。 潰瘍がある場合は治癒するまで献血不可。
高脂血症治療薬 （コレステロールを下げる薬）	当日でも○	
緩下剤（便秘薬）	当日でも○	
痛風・高尿酸血症治療薬	当日でも○	
前立腺肥大症治療薬	当日でも○	アボダート、アボルブ、ザガーロ、プロスカー、プロペシア等を除く。
解熱鎮痛消炎剤 （痛みどめ、熱さまし）	前日までなら○	
睡眠薬・抗不安薬	前日までなら○	体調等を考慮して献血可否の判断をします。
市販のかぜ薬	前日までなら○	かぜの症状がある場合は、安全を考慮して献血をお断りすることがあります。
病院処方のかぜ薬	3日間献血不可	
抗生物質 抗真菌剤・抗ウイルス剤	3日間献血不可	
抗うつ薬	3日間献血不可	
強心薬・抗不整脈薬・ 狭心症治療薬	献血不可	
糖尿病薬	献血不可	食事療法のみの場合で、糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症、糖尿病性神経症を合併していなければ献血可。

献血基準

献血にご協力いただける場合、以下の表を基準に採血いたします。

採血の種類		全血採血		成分採血	
項目		200mL	400mL	血漿	血小板
1回採血量		200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢		16歳～69歳※1	男性17歳～69歳※1 女性18歳～69歳※1	18歳～69歳※1	男性18歳～69歳※1 女性18歳～54歳
体重		男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧		90mmHg以上179mmHg以下			
最低血圧		50mmHg以上109mmHg以下			
脈拍		40回/分以上100回/分以下			
体温		37.4℃以下			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)		男性12.5g/dL以上 女性12.0g/dL以上	男性13.0g/dL以上 女性12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が 標準域にある女性は 11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
採血間隔	【前回採血】				
	200mL 全血	男女とも4週間後の同じ曜日から			
	400mL 全血	男性は12週間後、女性は16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から	
	血漿成分 血小板成分	男女とも2週間後の同じ曜日から なお、血小板成分採血では、血漿を含まない場合1週間後に血小板成分採血が可能。 ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間あける。			
1年※2に献血できる回数 (1年は52週として換算)		男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	

献血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

そのほか献血基準の詳細は
HPからご確認ください。▶



200mL 全血献血について

医療機関からの依頼の約97%が400mL献血による血液製剤であり、200mL献血による血液製剤の依頼は約3%と大変少ない状況にあります。つきましては、200mL献血の必要量が県内各献血会場において確保できた場合には、200mL献血の受付を終了させていただくことがあります。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

献血で多くの命を救えます

献血とは、病気の治療や手術などで輸血や血漿成分画製剤を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

献血初めての方はこちら ▶



献血にご協力いただける方へお願い

①～⑥に該当する方は
献血をご遠慮ください。

- ① 3日以内に出血を伴う
歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ② 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③ 1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ エイズ検査が目的の方

その他にも患者さんや献血される方の安全性を確保するため、健診医の判断により献血をご遠慮いただくことがありますので、ご了承ください。

- ⑤ 6ヵ月以内に以下に該当する方
(a) 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
(b) 男性どうしの性的接触があった
(c) 麻薬、覚せい剤を使用した
(d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥ 今までに以下に該当する方
(a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
(b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
(c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シヤーガス病にかかった
(d) エイズ検査(HIV検査)の結果が陽性だった



ラブラッドにご登録いただくと、簡単に献血のWeb予約ができるようになり、血液の検査結果もいち早くわかるようになります。また、ポイントを貯めて記念品と交換できるなど、さまざまな特典があります。さらに、スマホアプリ「ラブラッド」をダウンロードすれば、献血の事前問診もアプリからできるようになります。

